

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 筑後広域公園芸術文化交流施設
- 2 指定管理者 : ちくごJR芸術の郷事業団
- 3 指定期間 : 平成30年4月1日～令和5年3月31日
- 4 施設設置目的 : 筑後地域の芸術文化団体やまちづくり団体等との連携を図りながら、地域の情報発信や発展、文化振興に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
 - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果 : 別添のとおり

1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を踏まえ、地域との連携・協同を図りながら、地域の文化振興に寄与する。 全ての人が快適に施設を利用できる運営を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治体やNPO法人等と連携を図りながら、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱とする事業を実施している。 地域文化の振興のため、新型コロナウイルス感染対策を十分に行った上で、住民参加型のイベントや体験事業を展開し、九州芸文館としてのニーズに応えている。 園路の舗装工事を実施。雨天時、来館者の靴に付着した泥の館内への侵入が軽減されている。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> より広域的な集客を図るため、九州新幹線主要駅でのPRやSNSの活用等、効果的な広報に努める。 <p>（目標：利用者数 90,000 人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> JR九州の筑後船小屋駅周辺の各駅及び博多駅や小倉駅等の15駅にポスターやチラシ等を設置している。 JR九州博多駅中央改札口内正面のマルチビジョンを活用し芸文館のPRを行っている。 子どもを対象とした体験事業「親子でしめ縄を作ろう！」や自主事業「鉄道フェス2020」では、新聞折込に加え、筑後地域の各小学校に直接チラシを配布するなど集客に努めている。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの中止により、利用者数及び施設稼働率が減少している。 <p>＜中止した主な事業＞</p> <p>JR九州ウォーキングウォーキング（芸文館をコースのゴール地点として設定） 旅行会社（2社）と連携したバスツアー（芸文館をコースに組み込んだツアーを組成）</p> <p>〔利用者数：33,391人（対前年度 △52.3%） 施設稼働率：43.1%（対前年度 △5.7%）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的に沿って、施設の特性を活かした以下の事業を展開。 <p>事業数：15事業（対前年度 △12事業） 参加者数：15,647人（対前年度 △60.6%）</p> <p>① 芸術文化事業 事業数：9事業（対前年度 ±0事業） 参加者数：6,170人（対前年度 △66.3%）</p> <p>② 交流事業 事業数：2事業（対前年度 △5事業） 参加者数：3,727人（対前年度 △71.7%）</p> <p>③ 体験事業 事業数：3事業（対前年度 △3事業） 参加者数：2,873人（対前年度 △52.6%）</p> <p>④ 自主事業 事業数：1事業（対前年度 △4事業） 参加者数：2,877人（対前年度 +30.3%）</p> <p>＜主なもの＞ 「アーティスト・イン・レジデンス2020」、「九州芸文館トリエンナーレ2020」、「九州芸文館アカデミー講座」、「第12回筑後七国牟弥呼の火祭り」、「鉄道フェス2020」</p>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズ等を把握し、利便性の高い施設を目指す。 ・サービスマニュアルを作成、職員の役割を明確化する。 ・高齢者や障がい者への配慮を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等により利用者の声を集約し、職員間で問題の解決と情報共有を行なっている。 ・居心地の良い空間とするため、丁寧な清掃や分かりやすいサイン表示を心がけ、サービスマニュアルに沿った取組みをさらに徹底している。 ・園路の舗装工事を実施し、車いすでの来館がスムーズになっている。また、車いす3台の貸し出しを実施している。
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の促進と収入確保を目指し、経費の節減、経営の効率化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR九州のネットワークを活用し、広報を行うことで稼働率向上と収入確保に努めている。 ・新電力会社との契約により、コスト削減を図っている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数が減少し利用料金収入が減少している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①利用料金収入実績 : 1,639 千円 (対目標 : Δ20.8% 対前年度 Δ54.7%)</p> <p>②県委託料（指定管理料） : 115,523 千円 (対前年度 : +0.7%)</p> </div>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・「高い専門性」「豊かな技能」を有し、地域文化の創出に情熱的に取り組む人材を確保する。 ・安定した経営と財政基盤を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した事業実施やサービスの質の確保のため、専門知識・技術と現場経験を有する職員を配置している。 ・受付業務で利用者を待たせることがないよう、スタッフ全員が受付業務を実施できる体制をとっている。 ・借入金はなく、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> ・警備や巡回を定期的実施し、利用者の安全確保に努める。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止への対応を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日に、職員による巡回及び警備員による巡回及び点検を定期的実施し、来館者が安全快適に過ごせるよう努めている。巡回時には危険個所の早期発見及びマニュアルに沿った迅速な対応を行っている。 ・県の新型コロナウイルス感染拡大防止についての方針に従い感染拡大の防止に努めている。県の新型コロナウイルス感染症対策補助費を活用し、サーモカメラを設置したほか空気清浄機16基、非接触型体温計14台を配備している。

2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+ (提案内容を上回った) <input type="checkbox"/> A (提案内容をやや上回った) <input checked="" type="checkbox"/> B (概ね提案内容のとおり) <input type="checkbox"/> C (提案内容をやや下回った) <input type="checkbox"/> D (提案内容下回った)	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的を踏まえ、地域と連携したイベントや体験講座の実施など、施設の特徴を活かした文化事業を実施している。 ・利用者のニーズを把握し、高齢者や障がい者に配慮した対応を行うなど、施設利用者へのサービス向上に努めている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各収入、施設利用者数、施設稼働率等が減少したものの、「芸術文化事業」「交流事業」「体験事業」を3本の柱とした事業については、中止や延期とした事業もあったが、実施可能なものについては感染対策を講じた上で予定通り実施している。 ・感染拡大防止策については、職員の意識と設備の配備が徹底されており、十分に実施できている。 <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
--	--